

# 第一歩を踏み出す交流の場づくり

# 富浦協働つうしん

1月13日(木)

## 第一回「地域づくり協議会設立準備委員会」を開催

元気倶楽部で12月13日と17日の両日、第一回「地域づくり協議会設立準備委員会」が開かれ、市民が延べ23名参加しました。

13日の「ふれあいグループ（仮称）」の準備委員会で、①活動スケジュール、②具体的な活動内容等の5項目が話し合われました。

17日の「かがやきグループ（仮称）」の準備委員会で、①軽スポーツの普及、②ウォッチング富浦の実績等の5項目が報告され、話し合いが行われました。

参加者達は、具体的な活動の第一歩として、①和田地区のコミュニティカフェの見学、②グラウンドゴルフの体験的な実施等を決定しました。

次回は1月中旬、具体的な活動内容、スケジュール等を煮つめていきます。

多くの方々の参加をお待ちしております。

「ふれあいグループ」のメンバーが、お茶会を行いました。



「ふれあいグループ」のメンバーが、お茶会を行いました。



### 地域づくり協議会設立準備委員会のグループ長

石井康夫氏  
本間誠章氏



おのこの抱負を語る、ふれあいグループ(G)の石井G長(右)とかがやきGの本間G長(左)

今後の活動内容等話し合う参加者



### 石井G長の話

「ふれあいグループ（仮称）」では、主に以下の三つのテーマが提案されました。

- ①居場所（コミュニティ・カフェ等）づくり
- ②ウォーキングコースをつくらう
- ③子供の遊び場を確保しましょう。

これらのテーマを実りあるものにするため、市民の皆さんにも呼びかけ、協力し合い、活動していきたいと考えています

### 本間G長の話

「かがやきグループ（仮称）」では、富浦の地域づくりの一環として、以下の三つのテーマを多くの市民の皆さんと共に考え、交流の輪を広げていきたいと考えています。

- ①軽スポーツの普及
- ②環境美化の実施
- ③ウォーキングの普及

# 富浦の現状

## 農業祖産出額は横ばい

近年、富浦の農業祖産出額は、図1の通り、ほぼ横ばい状態を続けています。花き、野菜の祖産出額は、ほぼ横ばい傾向にあるものの、米は減少の一途を続けています。今後、生産年齢層が減少する中、農業祖産出額が大幅に増加し、富浦の発展に寄与していくとは予測しがたい状況です。

富浦の課題と今後の対応を皆んなで一緒に考えてみませんか。

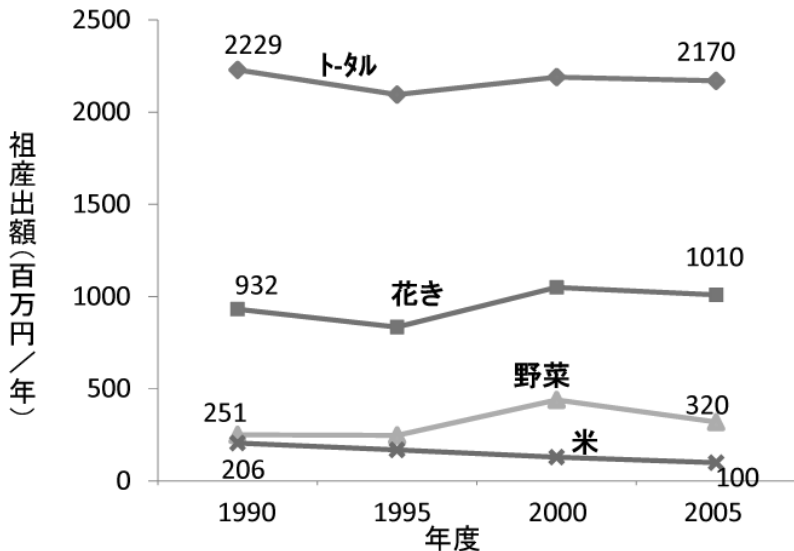


図1. 富浦町農業祖産出額\*の推移

\*:2005年度富浦町の枇杷の産出額: 72千万円

## 行事予定

2月18日(金) 10時〜、「まちのおんがくやさん」によるコンサート(富浦保育所にて)



枇杷倶楽部で12月10日(金)、国際交流協会主催のマンスリーサロンが開催。巧みな日本語と英語で司会をするPoying Huangさん

## 小学生の交流の場はにぎやか 富浦びわっ子スクールにて

毎週木曜日の放課後、富浦小学校体育館で縄のブランコやドッジボール等を楽しみ小学生(一〜三年生)。



ボランティアの方々の見守る中、多くの子供達が好きなきな運動をしている姿は、微笑ましく思われました。



## 富浦の昔ばなし

〜風の神様〜  
漁船の安全と豊漁を願う

昔むかし、ある浜に金尾谷の天王様(今の福澤の金気神社)を、厚く信仰していた漁師が住んでいました。毎年定めた日に必ずお参りしていましたが、ある年に、都合でお参りを欠かしたことがありました。

すると、どんなわけか、その漁師が出漁のたび海が荒れるようになったのです。これは天王様の罰かも知れないと考えた漁師が、急いでお参りに行きますと、それから海もなぎ、漁に出るとかならず大漁になりました。

金尾谷の天王様は風を鎮める神かと、この話はたちまち広がり、多田良から千歳にかけての漁師たちが、千人講という信仰仲間をつくり大勢でお参りするようになりました。

そのため、昔は七月十五日の天王祭りになりますと、神輿を川名(館山市)の浜へ出し、**漁船の安全と豊漁の祈願**をしました。

二月九日の福引き祭りのときは、信者へ杉の葉と葦の穂を束ね、榊の枝とともに分かち与えますが、これは、「過ぎ(杉)た年は風も静かで良し(葦)良し、今年も暮らしが盛ん(榊)になりますよう。」との意味があるのです。

(現在、福引き祭りは、二月十一日に実施)  
著者 生稻謹爾氏

